



徳之島「夢」振興会議
ロゴマークについて

「夢」の実生(みしゅう=種から芽を出して成長すること)を表現
色彩…花は紅の情熱、葉は緑の活力。
葉…双葉は象形文字の無限大、若芽は未来。花…歓喜・夢の表現

特定非営利活動法人 徳之島「夢」振興会議

第12号 (2013年発行)

夢 Yumeshin 振だより

憲章

みんなが自分の「夢」を持っている
「夢」を持ち続けることは生きる証
ふくらんだ「夢」は明日への力となる
「夢」の実現には努力がいる
「夢」の輪を広げよう
みんなの「夢」は日本中の人の「夢」につながる
徳之島の「夢」を世界の「夢」の輪にしよう

創立10周年記念 特集号

発行所 NPO法人徳之島「夢」振興会議
編集：津田 和紀・町田 憲孝 〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-25-15 IBビル5階(池袋西口・津田事務所) TEL: 03-3987-4641 FAX: 03-5953-5622
フラワー事務局 〒336-0974 埼玉県さいたま市緑区大崎2562-1 (南雲山堂) TEL: 048-812-1341 FAX: 048-812-1342
徳之島事務所 〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津1081 重岡 堯夫方 TEL/FAX: 0997-83-3090

次ぎの10年に向かう「夢」

徳之島「夢」振興会議理事長
徳田 昌則



徳之島「夢」振興会議は、設立10周年を迎えました。まず、これまで支えて下さった会員の皆さまに、心からの連帯のご挨拶を捧げたいと思います。

昨年、10月には、徳之島で、10周年の式典を盛大に祝うことが出来ました。その際に発刊した、『夢』振興10周年故郷での集い』に、関東の徳之島出身者や縁故者が集まって、徳之島を盛り上げたいという活動を始めた経緯とこれまでの活動のハイライトについてご紹介しましたので、具体的なお話はそちらに譲りますが、わが「夢」振は、それらの活動を通して、様々な経験をさせていただきました。それらを振り返ってみますと、まず、言えることは、ヤマトウにいる者が、島を想い、島のためにやりたいとの思いを果たすためには、まずは、せつせと島に戻って、島の何かに貢献することでした。花一杯運動は、その典型で、「夢」振

をもっとも特徴付け、その存在意義を示す活動でした。「夢」振自身にとっても、花一杯運動は、「夢」振活動の認知と多くの徳之島在住会員や協力者を得る原動力になりました。従って、この運動は、次の10年も、「夢」振活動の原点として続けられるでしょう。その次に言えることは、島の物産や観光をヤマトンチュウの友人、知人に紹介することでした。これは、言わば、島の情報発信を代行することといえます。そしてこれが、わが「夢」振の次の10年の基本になるように思われます。

話しは、突如、変わりますが、これからの社会に住む個人、そして組織にとって、最も重要な価値観は、個性を輝かすことだと思えます。個性輝く構成員が切磋琢磨することで、社会の活力が生まれます。その個性を形成する重要な要因の一つが、育ちの環境であり、育ちの環

境の歴史や文化に対する誇りだと思えます。大志を抱いて、都へ出て、研鑽に励む駆動力の一つでもあるはず。 「夢」振が、徳之島の物産や観光を、その歴史や文化をない交ぜて発信すると言ったことは、実は、徳之島のためだけではなく、日本社会の多様性とそこから生み出される活力に貢献することにもなるはず。仲間が集まって、内向きに終わるのではなく、外向きの活動を指向することに大きな意義があるという事です。そして、その事を、都会に出て来た早い時期に、徳之島出身の若者にも知って貰うことが必要に思えます。

折柄、次の10年を担う世代も現れています。先の10年で積み残している、徳之島会館という活動拠点設立の夢を託し、徳之島さらには奄美の産業、観光発信の更なる強化に結びつけたいものです。